

第四回日中韓三国保健大臣会合の結果（概要）について

大臣官房国際課
平成22年11月21日
於 韓国（済州島）

1. 会合の概要

本日午前、韓国（済州島）において、第4回日中韓三国保健大臣会合が開催された。日本からは細川律夫厚生労働大臣、中国からは陳竺（チン・ジク）衛生部長、韓国からは陳寿姫（チン・スヒ）保健福祉部長官が出席し、申英秀（シン・ヨンス）WHO 西太平洋地域事務局長のオブザーバー出席を得て、新型インフルエンザ対策や食品安全、臨床研究、災害等の緊急時対応、保健関連ミレニアム開発目標を達成するための取り組みに関し、今後の一層の協力について意見交換を行い、「第四回日中韓三国保健大臣会合共同声明」を採択した。

2. 「第四回日中韓三国保健大臣会合共同声明」の概要

- （1） 新型インフルエンザ対策について、前回会合以降の三国協力の進捗と有効性を確認した上で、引き続き、各国の対応状況や検査情報等の情報共有を行い、国際機関やアジア・太平洋諸国とも連携しつつ、協力を続けることの重要性を再確認した。
- （2） 食品安全について、前回会合において署名した「日中韓三国食品安全の協力に関する覚書」に基づく三国の協力の必要性を確認した。臨床研究、災害等の緊急時対応に関しても三国の協力の重要性を確認した。
- （3） 保健関連ミレニアム開発目標について、達成するための協力の手段を探索してゆくこととした。
- （4） 次回は、2011年に中国にて開催予定。

3. 今回の日中韓三国保健大臣会合の意義

- （1） 昨年11月の第3回会合以降、三国で協力して行ってきた様々な保健衛生分野の取り組みを確認し、さらなる進展を目指していくことを確認した。
- （2） 新型インフルエンザや食品安全、臨床研究、災害等の緊急時対応、保健関連ミレニアム開発目標についての「第四回日中韓三国保健大臣会合共同声明」を採択した。
- （3） 日中韓の保健担当大臣が一堂に会して信頼関係を構築することは、新たな感染症の発生等の国境を越えた保健課題に迅速かつ適切に対処する

ための協力体制の強化という意義をもつことを確認した。また、引き続き、本会合を定期的に開催していくことに合意した。

4. 併せて開催された二者会談の概要

細川厚生労働大臣は、日中韓三国保健大臣会合に先立って、三つの二者会談を行った。概要は次のとおり。

(1) 韓国陳寿姫（チン・スヒ）保健福祉部長官との会談

両国共通の課題となっている少子高齢化、国連ミレニアム開発目標等の分野における今後の協力関係について意見交換を行った。

(2) 申英秀（シン・ヨンス）WHO 西太平洋地域事務局長との会談

感染症対策、非感染症対策等についての東アジアの域内協力体制の重要性と、日本とWHO西太平洋地域事務局の連携強化の意義について意見交換を行った。

(3) 陳竺（チン・ジク）中国衛生部長との会談

食品安全等に関する日中協力の重要性を確認するとともに、日中の保健分野における連携の推進について意見交換を行った。

5. その他

上記会合に併せて、「グローバルな女性と子どもの健康に関する専門家フォーラム」（11月19日）、三大臣合同記者会見（以下11月21日）、「食品安全フォーラム」等が開催された。